



英語学習のモチベーション
アップ間違いなし!!

システム理工 環境システム 1年
原田岳信さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否 : 可 ・ 不可

派遣先: タイ KMUTT

TOIECのスコアに伸び悩んでいたこともあり、2週間英語を学べる語学研修に興味があった。現地の学生との交流が多いということと、実際に行った人の体験談が面白かったことから、タイKMUTTのプログラムに参加することに決めた。

現地では英語の授業を中心に活動した。グループでカタパルトやプレゼンテーションの作成、発表を行った。授業はすべて英語で進められるのでかなり刺激を受けた。聞き取る能力が自然と伸びると感じた。また、放課後にはバディと買い物に行ったり、夕食を食べたりした。バディとの会話の中で、英語を聞き取ること、自分の思っていることを英語で伝えることがいかに難しいか感じさせられた。これは、バディとの交流が多かったからこそ感じられたと思う。

自分はこのプログラムに参加して、英語学習へのモチベーションが高まった。もっと英語を聞き取れるようになりたいし、喋れるようになりたいと感じるようになった。このプログラムに参加したら、きっと英語学習への気持ちが高まると思うし、他のプログラムにも参加したくなると思う。また、自分の中での大きな経験になると思う。



2週間という短期間で英語力が伸びました！現地学生との交流も盛んです！

工学部 機械機能工学科3年 中村 寛隆さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： タイ・KMUTT

自分は接客のアルバイトをしているのですが、時々日本語が分からない外国人のお客様がご来店なさることがあります。その際どうしてもぎこちない接客となってしまう、自分の英語力のなさを痛感し英語力を上げなくては、と考えつつも時間が思うようにとれず、結局何もしていませんでした。その時にこの留学プログラムの存在を思い出したのが、プログラム参加のきっかけです。タイを選んだのは安かったことも理由の一つですが、日本での渡航ランキングが上位にあったので選びました。

滞在期間中は、平日は午前中3時間の英語の授業を行い、午後3時間は1週目はタイ文化の学習、2週目はプレゼンテーションの授業を受けました。英語の授業ではグループに分かれてゲーム形式で英語を学び、グループごとに協力してカタパルトを作成しました。これにより、英語の身近さを強く感じることができ、英語でコミュニケーションをとることにあまり不安を感じることはなくなりました。午後3時間の授業ではタイの文化について知識を深めることができ、異なる文化に対する抵抗感が一気になくなりました。帰国後もいろいろな人にタイを知ってもらいたくてタイの文化を教えています。

2週間という短期間のプログラムでしたが内容はとても濃いプログラムでした。海外での友達もできましたし、同プログラム参加者の芝浦生とも仲良くなれ、帰国後の学生生活も充実しています。何より英語への不安感がなくなったので、自信を持って英語を使うことができます。英語に悩みを感じている方は是非参加するべきだと思います！



ずっと感じていた英語に対する苦手意識
が解消できました！海外の方とのコミュニ
ケーションに自信がきます。

工学部 電気工学科 2年 駒崎 紘史さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： タイ・KMUTT

私は中学時代から英語に対する苦手意識がありました。ひたすら単語と文法を覚え、英文を日本語訳する作業に面白さが感じられなかったからです。しかし、これから外国人労働者が増えていく日本で生きていくには、英語を覚えないままではいられません。私は英語を身に付けるには海外の方と英語でコミュニケーションをするのが一番の近道だと考えました。そして、それなら留学して英語での会話をせざるを得ない環境に身を置いた方がいいと思い、留学を決めました。タイのKMUTTを選んだ理由は留学費用の安さと物価の低さが大きいですが、タイが親日だと言われていることも決め手の一つです。

留学先での授業内容は英語の授業はもちろんですが、他にも、タイの文化についての授業とプレゼンテーションの授業がありました。それらの授業は全て英語で進みます。学生間の会話は日本語OKなので、身構えなくても大丈夫です(授業のテーマによっては英語しか使えない時もありましたが)。また、私たち留学生の世話をしてくれる現地の学生さん達は、毎日私たちをタイの色々な場所に連れていってくれました。彼らは積極的に私たちに話しかけてくれるので、タイの様々な場所を訪れながら、タイの学生の日常から将来の進路についてまでたくさんのお話をすることができました。それらの会話は私にとって良い刺激となり、学業に対するモチベーションの向上と自分の将来をもう一度見つめ直すきっかけになりました。

2週間という期間は非常に短いように思えますが、とても濃密で、体感的には一か月留学していたような気がします。私は英会話のスキルを向上させるために留学を決めましたが、結果的には英語に対する苦手意識の解消と海外の方とのコミュニケーションに自信がついたことが大きな収穫でした。私のように英語が苦手だな～と感じている人はぜひ参加してみてください。



英語でのコミュニケーションを実践的学習！ 初海外でも気楽な対話をさせてもらいました

デザイン工学部 デザイン工学科 2年
加賀谷幸彦さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： タイ・KMUTT

大学生活にもだいぶ慣れ、自分は今まで何をしてきたらどうかと振り返ってみると、大して何もしてきていないような気がした。これから3、4年になると時間も取りにくくなるので、今のうちに、今しかできない経験を積み、新しい発想を生み出すための刺激となることを求めて海外への語学研修に申し込んだ。自身の英語力に自信はなかったが、語学力を鍛えるためのプログラムであるなら問題にはならないだろうし、2週間と短期であることも腰を軽くさせる要因だった。海外に行くのは今回が初めてで、正直不安は大きかったが、一人で行くわけではないこと、現地の学生がバディとしてサポートについてくれることもあり、最終的にはなんとかかなるだろうと楽観的に考えたのを覚えている。

実際はどうであったのかと言えば、私のつたない英語力でも充実した体験ができ、当初考えた通り大きな問題はなかった。時間割は、1コマ3時間とし、午前と午後それぞれ1コマずつの講義を受け、具体的な内容としては英語授業を中心に、タイの文化を学んだり、プレゼンテーションの方法を学んだり、教師と生徒がコミュニケーションをとるようなものだった。会話が早いとは言っても発音は聞き取りやすいもので、分からず聞き返したら嫌な顔1つせずには繰り返して話してくれる。その代わり全員が自分の意見を(当然英語で!)発言できるまで待たれることになるなど、文の構築力が低い私にとってはありがたいながらも苦しい場面もあった。また、講義が終われば現地の生徒と交流が始まる。お勧めだというレストランに案内され、タイの料理をみんなで食べるなど気楽で楽しい時間だった。会話はもちろん英語ではあるのだが、お互いに相手に伝えようと工夫を凝らすからか、意思疎通できなかったと感じることはあまりなかった。ただ自分の専攻について聞かれたときに用語の意味を伝えきれなかったのが心に残る。

終わってみればあっという間で、大きな不安を抱えながら申し込みをしたときがもう遙か昔のことに思われる。迷っているなら参加するべきと言えるほどに大切な経験をさせてもらった。周囲が知らない人だらけだろうが、会話したいという気持ちがあれば伝わる。気の持ちよう次第だと学べた。



2週間で英語でスムーズに話すことができるになりました!現地学生との交流や授業により英語力向上!

システム工学部 電子情報システム学科2年
山本 剣大さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否 : 可 ・ 不可

派遣先: タイ・KMUTT

英語はとても大切な科目であると感じているが、普段の生活では英会話する機会や英語を学習する機会がないため短期間でも英語を集中的に学び、英語の力を身に着けたいと思いこのプログラムに参加した。タイのKMUTTでは1日当たりの授業が他のプログラムと比べて多いと説明会で知ったため英語力を短期間で向上させるにはこのプログラムがいいと思ったことや外国の文化にも興味がありタイの文化についても学びたいとも思ったり、留学は初めてであるため最初から4週間というのは不安であったため2週間の短いプログラムから慣れようと思いこのプログラムに参加することにした。

KMUTTの授業では午前は9時から12時までの3時間、午後は13時から16時までの3時間の英語の授業がそれぞれあった。授業では主に発音の練習や単語の学習をした。そして、英会話を鍛えるためにあるものについてその単語を直接使わずに説明する練習などをした。また、1週間かけて1グループあたり3人でカタパルトの制作を行った。そこではコミュニケーション能力の向上や協力して物を作ることの大切さを学んだ。他にはプレゼンテーションの練習を行い実際にパワーポイントを作成し発表会を行った。そこではプレゼンテーションをするうえで大切な心構えについて学んだ。そして現地の学生との交流においては寺院や世界遺産などに連れて行ってもらったり、文化や食事などについても学ぶことができた。そして英語の勉強方法などについて聞いたりして実際に自分も取り入れてみようと思った。

2週間という短期間のプログラムであったがたくさんのことを学ぶことができた。英語の力を少しでも向上できたこともあるがその他にタイの文化を実際に現地に行って文化を学び、他の国の文化などについても気になった。そして2週間という短期間でも学部や学科外の友人を作ることができた。そしてその人たちと協力して物を作るというのは協力して物を作ることの難しさや協力することの大切さを学ぶことができた。



タイバディとの交流により、進路の選択肢
や知見が広がりました。

システム工学部 機械制御システム学科 2年
佐竹陽一さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： タイ・KMUTT

今回の語学留学は私にとって二度目の参加でした。前はマレーシアのUTMIに行き、1年ながら全体リーダーを務めました。初対面の人たちを束ねる経験、またより多く現地学生と関わる経験を得ること。そして近くの国でありながら文化の違いに触れることができるため、語学留学に参加し、タイを選びました。

平日の多くは英語の講義がありました。カタパルトを日本人3名ずつのチームで作成し、そのプレゼンなどで英語に触れる講義、タイの文化に触れる講義、日本とタイの違いについてなどを発表する講義がありました。また曜日を問わず、タイバディと出かける機会が多くありました。その際に会話を重ねることで、自身の英語の表現をする引き出しが増え、考えるよりも先に拙いながらも会話をすることができるようになっていました。また観光などを通してタイの仏教など日本と異なる文化に触れ、国際的な理解力が自然と身に着けられました。

この留学を通して日本にこだわることの無意味さ、それに加えて己の自己研鑽の手段の一つとして海外はとても有益であり、効果的であると痛感しました。目先のTOEICの点などに固執せず、さらに長期的な視点で自らのレベルアップがこの大学生であるうちに必要であると思います。PBLや交換留学、大学院進学などを考慮しつつ日本で過ごしていこうと決意しました。

海外を訪れた機会のない方々へ。何事も経験です。普段の大学生活、バイトをしているだけでは得られない経験が海外に行くことで得られるようになります。それはいい思い出ばかりではないと思いますが、その失敗をしたことで生まれた知識などは何物にも代えられません。この体験談が皆様の海外への背中を押すものになれば幸いです。



短期間ではありましたが、現地学生との交流も多々あり、かなり充実した生活を送れました。とてもオススメです。

システム理工学部 環境システム学科1年
石井亨さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：タイ・KMUTT

今までに一度も海外に行った経験がなく、大学生のうちに一度は海外に行ってみたかったというのが今回の語学研修プログラムに参加した大きな要因です。数あるプログラムの中でもこのプログラムを選んだ理由として、安価であること、2週間という期間が自分に合っていると思ったこと、日本との時差がそれほどないこと、料理が美味しいことなどがあります。一度も海外に行ったことのない私にとってはこれらが重要な要素だと考え、決めました。

授業は午前中が9時～12時の3時間、午後は1時～4時の3時間でした。一見長いようにも感じますが、授業の途中でおやつタイムのような休憩時間もあつたし、なによりどの授業もアクティブラーニングなので、全く退屈にならず、楽しく授業を受けることができました。また、授業後はバディたちがほぼ毎日夕食に連れて行ってくれたので、バディたちと交流ができることに加えて、おいしい料理をたくさん食べることができました。土日のようなフリーデーも、バディたちと一緒にタイの有名な観光スポットを巡ったりと、とても貴重で思い出に残る体験をさせてもらいました。

今回の語学研修は2週間という短い期間でしたが、英語の能力の向上はもちろん、英語をもっと勉強しようというモチベーションがかなり高まった気がします。またこの研修を通して、この経験がなければ会うことがなかったであろう芝浦工業大学の学生とも仲良くなれたし、なにより現地のバディたちとの交流の時間がとてもかけがえのないものであり、それが本当に思い出に残っています。自分が思っていた以上に現地の学生は親切で、素晴らしい人ばかりでした。今回出会った芝浦工業大学の友達、タイのバディたちとはこれからもずっと何かしらの形で繋がっていられると思います。本当に良い経験をさせてもらいました。



短期間でしたが英語の能力も上達して
いい経験になりました。
また、現地の人達も仲良くしてくれて観光もできました。

工学部 応用化学科 2年 山崎 緋里さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： タイ・KMUTT

中学校の市の行事で一度留学をしていて、その時にいい経験になったため大学在学中にもう一度留学をしたいと考えていました。タイKMUTTは、2週間という比較的短期間のプログラムではあるものの、一日あたりの授業時間数が多く、短期集中で英語力を高めるにはベストと思ったことに加えて、タイに留学に行った事が多くて話を聞いているととても楽しそうに思えたためタイに行くことに決めました。

滞在期間中は、平日は午前中3時間、午後3時間の講義を受けました。講義の内容はカタパルトを作る英語の授業とタイの文化とプレゼンテーションでした。講義は一コマ3時間だったため1.5時間ごとに小休憩を挟んでタイのお菓子やフルーツを出してくれました。講師の先生は英語で話しているのですが、わかりにくい顔をしていると話す速度を下げてくださいました。また、アプリを使った英語でのプレゼンのゲームなど英語のとっつきにくい印象を変えてくれました。放課後はフリーな時間が多いためバディ達が大学の近辺や行きたいと言った場所に連れて行ってってくれました。休日には観光や現地ですでできたタイ人の友達に頼んでバンコクを案内してもらいました。

留学を終えて、初日より英語能力や積極性が増していることがわかりました。現地の人に話しかける回数も圧倒的に増えて一人で行動できるようにもなりました。一緒に参加した芝浦の学生とも、今回の留学がきっかけとなって学部、学科、学年を超えた友人をつくることもでき、帰国後も現地の学生や日本人と連絡を取り続けています。今後は、語学研修で培った力をベースに他の上位プログラムへの参加を考えています。

(後輩へのメッセージ)

タイは思っている以上に楽しいところです。行ったら帰りたくなるほどタイのことが好きになりました。また、旅行としてもう一度タイに行く人も多いです。タイの人達も日本の事が好きなので日本に旅行に来る学生が多く日本にいても海外交流ができるようになります。ぜひ一度行って見てください。



たったの2週間で英語で
会話することが出来るようになりました。

工学部 電気工学科 3年 仲本 宙司さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：タイ KMUTT

アルバイト先で外国人の対応をするたびに英語の必要性は感じつつも、英語への学習意欲がなかなかかわかず、学習時間も取れないままTOEICの点数も伸び悩んでいる中で、無理矢理にでも英語を勉強する環境に自分を置くことで英語の能力を身につけようと考え、今回の語学研修に参加しました。タイKMUTTは、2週間という比較的短期間かつ安価なプログラムであり、参加しやすかったことに加え、このプログラムに参加していた友達からも良かったと聞いていたので、このプログラムに決めました。

滞在期間中は、平日は午前中3時間、午後3時間の時間割で英語の授業、タイの文化に関する授業やプレゼンテーションに関する授業に参加しました。授業は、とにかく英語を話すことの積極性を意識させる授業になっていて、必然的に英語を聞くこと、話すことに慣れていきました。またタイの学生にいろいろなところに連れていってもらいました。大学近くの美味しいご飯屋さんや、ショッピングモールや、マーケットに連れて行ってくれたり、タイのお寺にも一緒に行きました。タイの学生と行くことでそのお寺について色々なことを教えてもらうことが出来ました。

たった2週間のプログラムでしたが、得られるものは非常に大きかったです。初めは、聞くことだけで話すことが難しく、また英語を常に聞いている事に若干のストレスを感じていましたが、帰国する前にはタイの学生と普通に英語で会話することが出来るようになり、とても楽しい日々を送れました。2週間でもぜひ留学に行ってみてください。必ず、その経験は活かされると思います。